

元従軍慰安婦8人が参加

初の国際公聴会

9日・東京で

日本の戦後補償をめぐり、元従軍慰安婦らから事情を聴く初の「国際公聴会」が九日、東京で開かれる。

国連人権小委員会の調査に協力する非政府組織(NGO)が開催するもので、元慰安婦が、当時の実態を生

の形で証言する。韓国のほか朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)や台湾、フィリ

ピン、元慰安婦も参加する。報告書として作成される。

野島タツル
03(366)4147

労働の被害者たち。いずれも日本の戦争の犠牲になったと名乗り出ている。また元慰安婦たちが対日補償請求訴訟を準備中のフィリ

公聴会に臨むのは、韓国、北朝鮮、台湾、中国、オランダなど元慰安婦八人をはじめとする強制連行・強制訴える。被害者数人はすでに来日している。

議しており、公聴会はこの動きをバックアップするものとなる。

公聴会では、戦後補償問題を追及する民間団体「アジア太平洋地域の戦争犠牲者に思いを馳せ、心に刻む会」(大阪)などが呼び掛け、実行委員会を組織して開催にこぎつけた。

国連人権小委員会は従軍慰安婦問題を「重大な人権侵害」として真相究明を決

公聴会では、国連から委嘱されたテオ・ファン・ボーベン特別報告官や元国連人権部長のジョン・ハンフリー氏らをはじめ、国連でロビー活動をするNGOのメンバーが聴取に当たる。公聴会は九日午後二時から千代田区の神田パンセで。実行委員会は広く傍聴者を募っている(問い合わせは公聴会事務局03・3350・4728)。